

## ティーチング・ステートメント

所属 横浜商科大学

名前 小島 敏明

作成日 2020年9月17日

### 【責任】

経営情報学科スポーツマネジメントコースに所属。専門分野はマーケティング、まちづくり。主な担当科目は、スポーツビジネス、スポーツマーケティング、スポーツとまちづくり、広告論など。その他に、アカデミックアドバイザーとして、ゼミナール、プロジェクト研究、社会力演習で学生の教育・研究指導。キャリア支援専門部会長として学生のキャリア支援を担務としている。

### 【理念】

本学の1966年開学時の建学の精神「安んじて事を託される人となれ」と教育方針を基本に、社会の一員としての自覚と共生の視点を有し、個性豊かであり、自分の価値を高めるための学びを大切にす人財を育成したい。

教員として、「何のために学ぶのか」を主メッセージに、学生と共に学ぶことを基本スタンスに、授業やゼミナール、キャリア支援など通じて、①学ぶことの意味とは？②学ぶことで見えてくるもの、③学び続けることの大切さ、の3点を伝えたい。

この理念を実現するために、産官学での共同研究を主導し、社会課題への解決に向けた研究活動の実践とその成果を学内外に発表するなど、自らがその模範となるように務めると共に、その成果が授業の質的向上と学生の学習・意識の向上につなげられるような好循環の形成を目指したい。

### 【方針・方法】

上記の理念を実現するために、学生が「学び方を学ぶ」、「基本知識を理解する」、「世の中の動き・実学に触れる」「評価基準を理解する・自信をつける」という方針で教育をしている。また、学生のキャリア形成の支援のあり方を改革・推進するために活動している。

#### 方針1：学び方を学ぶ

方法1：授業の達成目標を明確にし、理解を促すための授業前中後の学習の手順を明確にする。（Googleclassroom）の活用

方法2：考える技術・書く技術の取得

#### 方針2：基礎知識を理解する

方法1：オリジナルテキスト、サブノートの用意

方法2：授業内で小テストの実施。個人の意識・学習の習得度合のモニタリングとフィードバックの徹底。

方針3：世の中の動き・実学に触れる

方法1：時事ネタ、ケーススタディ、ゲストスピーカー、映像資料などを活用した授業内容の実施

時事ネタ、映像資料 → Googleclassroomに格納

ケーススタディ事例 → Googleclassroomに格納

ゲストスピーカー → 乃村工藝社 北川春香さん（実施）

日経リサーチ 川本さん（予定）

オリエンタルランド 奥野さん（予定）

方針4：評価基準を理解する・自信をつける

方法1：期末評価の基準を明確にし、学習の自己のプロセスと成果が評価に結びつくことを理解してもらう。説明責任を果たせるように評価設計を行う。

方法2：学内外で研究成果などが発表できる機会を設ける（今後実施予定）

**【評価・成果】**

- ・授業評価（オンライン授業の充実した授業としてリストアップ）
- ・レポート内容の質的向上と期末試験の平均得点の向上  
各年のレポート、期末試験の結果を分析し基準を明確化する。その上で、毎回の学生のレポートのフィードバック、授業毎に学生の達成目標の確認など、そのプロセスも含めるようにした。
- ・キャリア支援の棚卸しとPDCAサイクルづくりに着手
- ・共同研究等の研究成果の発表（昨年3件）

**【目標】**

- ・偏差値やブランド・イメージなどを超える商科大独自の学びのスタイルの確立
- ・学生のマインドセットを変える。小さくても熱い大学を共に作りたい。